

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立生江小学校

令和 4 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標を「人権尊重の精神と態度を養い、明るくたくましく生きる子どもを育てる」、めざす子ども像を「命と人権を大切に、共に生き、共に学び、励ましあう子」と設定し、一人一人の児童を大切にした教育活動を推進してきた。これまで長年にわたり、「授業が変われば子どもが変わる」を合言葉に、授業力向上を柱とした研究活動等に地道に取り組んできた結果、学力面だけではなく生活指導面でも、課題が少しづつ改善されてきた。現在は全体的に落ち着いた状況で教育活動を進めることができているが、現状に満足することなく、よりよい教育環境を創造する取組を推進していかなければならない。

本校におけるこれまでのさまざまな取組を通して、次の課題が明らかになった。

- 日常的には良好な人間関係を築けている様子が見られるが、他者の気持ちを考えることができずに、トラブルを発生させてしまうケースがよくみられる。
- 人権集会等の取組では自信をもって自分の意見を発表できるのだが、間違えたり失敗したりすることを恐れ、意見を述べることを苦手とする児童が多い。
- 困難な状況に出会ったときやトラブルが発生したときに、それを乗り越えていくこうとする力を育成する必要がある。
- 自然体験や文化・芸術体験等、さまざまな体験に触れ合う機会が不足しており、自然のすばらしさを感じたり、美しいものや気高いものへの畏敬の念を抱いたりする取組を充実させる必要がある。
- 児童数が減少し続けていることに伴い、協働的な学びが充実させにくい状況となっている。学力の格差も顕著になっており、全体的な学力の底上げのためには、豊かな学びを保障する工夫が必要である。
- きめこまやかな「個に応じた指導」を必要とする児童の割合が多くなっており、インクルーシブ教育の充実が必要である。
- 読書活動において、かたよったジャンルの本を選ぶ傾向が強い。成長過程に応じた内容の本を読めるようにしなければならない。
- 運動習慣は定着しているが、運動能力の向上に向けて、どのような工夫をすればよいか、改善をすればよいかを、児童一人一人が考えられるような体力向上の取組を進める必要がある。
- スマホやゲーム・SNSへの依存傾向が気がかりな児童が多くみられる。保健指導や栄養指導を進め、家庭と連携して健康教育に取り組んでいかなければならない。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。 R3 : 94.1%
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年増加させる。
R3 : 100% (3人/3人)
- 令和4年度～令和7年度の年度末の校内調査において、学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を、毎年100%にする。
R3 : 100%
- 令和7年度末の校内の生活アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を、90%以上にする。
R3 : 84%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査の児童質問紙における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、60%以上にする。 R3 : 54%
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、いずれの学年も1.00以上にする。
R3 : 国語 3年生 1.06、4年生 0.78、5年生 1.02、6年生 0.88
算数 3年生 1.07、4年生 0.78、5年生 1.06、6年生 0.90
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 R3 : 96.7%
- 令和7年度の小学校学力経年調査の児童質問紙における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上とする。 R3 : 47.8%

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内の生活アンケートにおける「日々の授業で学習者用端末を活用している」の項目について、「あてはまる」と回答する児童の割合を、100%にする。
R3:未実施
- 令和7年度末の校内調査における「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に回答する教職員の割合を、90%以上にする R3 : 未実施
- 令和7年度末の校内調査において、児童1人あたりの学校図書館の年間貸出冊数を、令和3年度より10%増加させる。 R3:35.8冊
- 令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。
R3:未実施

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。 **R3 : 94.1%**
- 年度末の校内調査において、**不登校児童の在籍比率**を前年度より減少させる。
R3 : 5.2% (5人/97人)
- 年度末の校内調査において、前年度**不登校児童の改善の割合**を増加させる。
R3 : 100% (3人/3人)

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査において、学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を、100%にする。 **R3 : 100%**
- 校内の生活アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を、90%以上にする。 **R3 : 84%**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査の児童質問紙における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 55%以上にする。 **R3 : 54.0%**
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
国語 3年生 1.06、4年生 0.78、5年生 1.02、6年生 0.88
算数 3年生 1.07、4年生 0.78、5年生 1.06、6年生 0.90
- 小学校学力経年調査の児童質問紙における「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 **R3 : 96.7%**
- 小学校学力経年調査の児童質問紙における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 50%以上とする。 **R3 : 47.8%**

学校園の年度目標

- 校内の生活アンケートにおける「嫌いな食べ物でも少しあは食べるようになっていますか」の項目について、「あてはまる」と回答する児童の割合を、85%以上にする。
R3 : 85%

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 校内の生活アンケートにおける「日々の授業で学習者用端末を活用している」の項目について、「あてはまる」と回答する児童の割合を、100%にする。

R3:未実施

- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を90%以上にする。 **R3 : 100%**

学校園の年度目標

- 教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に回答する教職員の割合を、90%以上にする **R3 : 未実施**

- 児童1人あたりの学校図書館の年間貸出冊数を、令和3年度より10%増加させる。

R3:35.8冊

- 保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を大切にしているか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。 **R3:未実施**

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立生江小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】	
全市共通目標（小・中学校）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 R3 : 94.1% ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R3 : 5.2% (5人/97人) ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 R3 : 100% (3人/3人) 	
学校園の年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査において、学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を、100%にする。 R3 : 100% ○ 校内の生活アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を、90%以上にする。 R3 : 84% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 学部制をベースとし、きめ細やかな指導と情報共有を行うことにより、問題行動等の未然防止、早期発見に努めるとともに、関係諸機関との連携を充実させ、適切な指導・支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学部会や職員朝会、職員会議や児童理解の場などで生活指導についての共通理解を図り、ケースに応じて学部や関係する教職員で対策を講じ、解決をめざす。 ・「いいところみつけ」を活用したり、児童の情報や指導したことを見童理解フォルダに記録として残したりすることで、教職員全体での情報の共有を図る。 	
指標 保護者アンケートの「学校は、子どものことを理解するよう努めている」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 65%	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 学校及び学年の実態に即した人権教育を推進し、励ましあい、高めあえる集団の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育や仲間づくりなどをテーマに、児童の実態に合わせた取組を実践し、その内容を人権集会で発表する。 ・年間計画に沿って、平和学習や部落問題学習、在日外国人に関わる学習などを各学年の児童の実態に合わせて実践する。 	

指標 保護者アンケートの「学校は、子どもに命や人権を尊重する態度を育てるよう取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 **R3 : 62%**

取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】

多様な体験活動を通じ、児童が自身の成長を自己評価し、主体的に学びに向かうことができるよう指導する。

- ・地域の皆さんと連携し、昔遊びやまち探検、防災訓練など多様な体験活動を実施する。
- ・児童の学びが効果的になるように、社会見学などの校外学習や各教科の学習における体験活動を充実させる。
- ・取組後に振り返りの時間を設定し、自分の学びを自己評価できるようにする。

指標 保護者アンケートの「学校は、子どもが楽しく学校生活を送ることができるよう取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 **R3 : 70%**

取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】

個別の支援を必要とする児童の学びを充実させ、互いを認め合い協働する力を育成するインクルーシブ教育を推進する。

- ・特別支援教育部会を定期的に開き、児童の学習の状況について共通理解を図る。
- ・児童の自立に向けた取組や学習支援ができるよう、校内の体制を工夫する。
- ・学習室の環境を整備し、児童が安心して登校し、学習できる場を作る。
- ・年に1回以上各学年でインクルーシブに関する体験学習を実施する。

指標 保護者アンケート「学校は、特別支援教育（インクルーシブ教育）に積極的に取り組んでいる」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、70%以上とする。 **R3 : 未実施**

取組内容⑤【基本的な方向2、豊かな心の育成】

異学年交流を深める取組みを充実させ、自己肯定感や自己有用感の涵養を図る。

- ・たてわり清掃や児童集会、全校遠足、生江フェスティバルなど、たてわり班での活動を充実させ、異学年の児童と交流する機会を数多く設定する。
- ・学級での係活動や当番活動、高学年の委員会活動を通して、児童が主体的に活動する機会を設定し、できたことを認めることで達成感を味わえるようにする。

指標 学力経年調査の児童質問紙の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。

R3 : 87.0%

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立生江小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査の児童質問紙における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 55%以上にする。 R3 : 54.0% ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 <u>国語 3年生 1.06、4年生 0.78、5年生 1.02、6年生 0.88</u> <u>算数 3年生 1.07、4年生 0.78、5年生 1.06、6年生 0.90</u> ○ 小学校学力経年調査の児童質問紙における「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 R3 : 96.7% ○ 小学校学力経年調査の児童質問紙における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 50%以上とする。 R3 : 47.8% <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校内の生活アンケートにおける「嫌いな食べ物でも少しは食べるようになりますか」の項目について、「あてはまる」と回答する児童の割合を、85%以上にする。 R3 : 85% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>習熟度別授業や少人数授業を効果的に実施し、基礎基本の定着、個に応じた指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習でデジタルドリルを活用するなど、基礎基本の定着を図る取組を進める。 ・習熟度別少人数のアンケート等に基づいて指導方法の工夫を重ね、個に応じた指導の充実を図る。 <p>指標 保護者アンケートの「学校は、授業がわかりやすくなるよう工夫している」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 67%</p>	

取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】

児童が自主的・自発的に学習に取り組もうとする意欲を高めることができる指導を推進する。

- ・自主学習タイムにおいて、自主学習への取り組み方について説明したり、教材を紹介したりすることで、自主学習に取り組む意欲の向上を図る。
- ・児童の意欲を高めることができる評価ができるように工夫する。

指標 生活アンケートの「1週間に2回以上、家庭学習をしていますか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。

R3 : 64%

取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】

対話や交流等の協働的な学びを通して、自分の考えを深めたり、広げたりする力の育成を図る。

- ・筋道立てて考える力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるように、指導の充実を進める。
- ・ハンドサインを用いて、発表や交流の活性化を図る。
- ・聞き方、話し方についての掲示物等を作成し、活用する。

指標 生活アンケートの「授業はわかりますか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 49%

取組内容④【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】

中学校との接続を意識した指導を行い、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の総合的な育成を図る。

- ・週に2回のモジュール活動を充実させ、児童が英語に慣れ親しむことをめざす。
- ・C-NET や専科教員と連携した学習において、多様な体験活動を取り入れる。

指標 学力経年調査の児童質問紙の「外国語の授業で学習したことを使っていろいろな人と話をしたいと思いますか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 73.9%

取組内容⑤【基本的な方向 5、健やかな体の育成】

体力テスト等の結果もふまえ、体育の授業や体育的取組を工夫し、児童の体力向上への意識を高める。

- ・休憩時のみんな遊びやなわとび週間、かけあし週間等を活用し、体力向上への意識を高める。
- ・体育科の授業の導入において、年間を通して新体力テストの記録向上につながる運動に取り組むなど、体力づくりに関する取組を進める。

指標 生活アンケートの「休み時間に外に出て遊んでいますか。」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 77%

取組内容⑥【基本的な方向 5、健やかな体の育成】

児童が規則正しい生活習慣が身につけることができるよう、健康に関する指導や食育の充実を図る。

- ・栄養指導、給食カレンダーや食育だよりなどを通し、食べ物の働きを知り、バランスよく食べることの意識を高めることができるよう指導する。
- ・保健給食週間や歯みがき指導を通じて、歯の健康の大切さを知らせ、正しい歯みがきの仕方を意識づけ、習慣化するように指導する。また、家庭への啓発も進める。
- ・学期に1回の保健給食週間を通し、食育や健康教育の充実を図る。
- ・情報発信を通して家庭との連携を深め、食育や規則正しい生活習慣の確立に向けた指導に取り組む。

指標 学力経年調査の児童質問紙の「1日当たり、どれくらいのすいみん時間ですか」の項目について、「6時間以上」の回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 **R3 : 94.2%**

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立生江小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none">○ 校内の生活アンケートにおける「日々の授業で学習者用端末を活用している」の項目について、「あてはまる」と回答する児童の割合を、100%にする。 R3:未実施○ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 90%以上にする。 R3 : 100% <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">○ 教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に回答する教職員の割合を、90%以上にする R3 : 未実施○ 児童 1 人あたりの学校図書館の年間貸出冊数を、令和 3 年度より 10% 増加させる。 R3:35.8 冊○ 保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を大切にしているか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。 R3:未実施	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 D X の推進】</p> <p>I C T 機器の活用を効果的に進め、子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・朝学習の時間にデジタルドリルを活用し、当該学年で学習している単元や昨年度の経年テストで大阪市の課題となっている単元等の学習に取り組む。・学習者用端末に触れる機会を増やし、雨の日などにも自主的に学習に取り組めるようとする。 <p>指標 学力経年調査の児童質問紙「デジタルドリルを使った学習は楽しいですか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 53.6%</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校内の研究体制の充実を図り、教育活動の一層の充実をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none">・外部講師も活用し、さまざまな視点からの学習指導や児童理解のありかたを学ぶ機会を設ける。・教職員がお互いに学びあえる環境づくりを進め、目的を明確に持ち、自己の課題解決に取り組むことができる校内研修体制づくりを進める。	

<p>指標 教職員アンケートの「校内研修が自らの課題の解決につながったか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、75%以上とする。 R3 : 未実施</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が持てる能力を存分に発揮することできる職場環境の実現をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回「ゆとりの日」を設定し、効率よく業務を行う意識を高める。 ・一部の教職員に業務量が偏りすぎないように、それぞれの校務分掌・委員会における取組等の企画・検討を綿密に行う。 ・スクールサポートスタッフの業務内容の充実を図る。 	
<p>指標 教員の一人当たりの月あたりの平均時間外勤務時間を前年度並みにする。 R3 : 11時間8分(2月末現在)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向8、生涯学習の支援】 言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにすることができる読書活動の実現をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力を身につけることをめざし、6分野(比較・順序・類別・理由付け・定義付け・推理)における語彙力の向上につながる読書活動を進める。 ・図書室を毎週活用するとともに、読書記録をつけ、年間の読書冊数を増やす。 ・3年生以上では、国語辞典を常時活用し、学習活動や読書活動を充実させる。 	
<p>指標 生活アンケートの「1週間に1冊以上、本を読んでいますか」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、前年度と同水準以上とする。 R3 : 69%</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 家庭・地域等と連携協力し、社会総がかりで子どもを育む、教育課題を改善していくためのネットワークづくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学年だよりを定期的に発行し、教育活動の様子についての情報発信を行う ・全学年が週に1~2回、学校ホームページに記事を掲載し、情報発信に努める。 ・防災学習等の地域と連携した取組の充実を図る。 	
<p>指標 保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を大切にしているか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。 R3:未実施</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

(様式例 3)

令和 4 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立生江小学校 学校協議会

1 総括についての評価

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：
年度目標：
• • • •

3 今後の学校園の運営についての意見